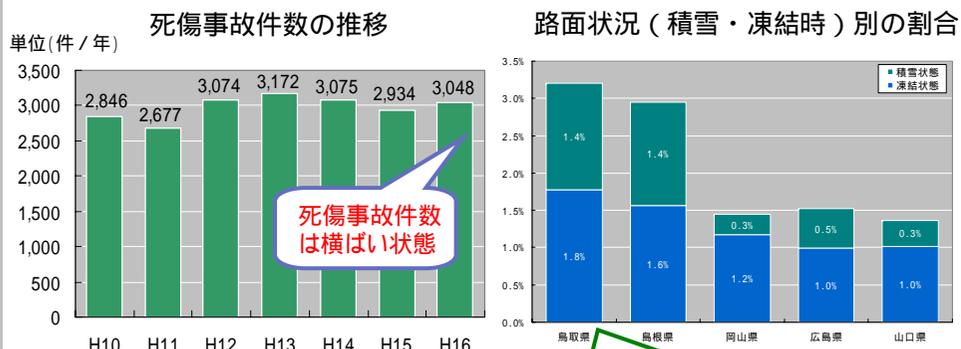


死傷事故件数

1. 鳥取県の現状

近年、鳥取県の死傷事故件数は横ばい状態です。
 県内の死傷事故は鳥取市や米子市及び2都市を結ぶ国道9号において多発しています。また積雪や凍結時に事故が多く発生するという特徴があります。

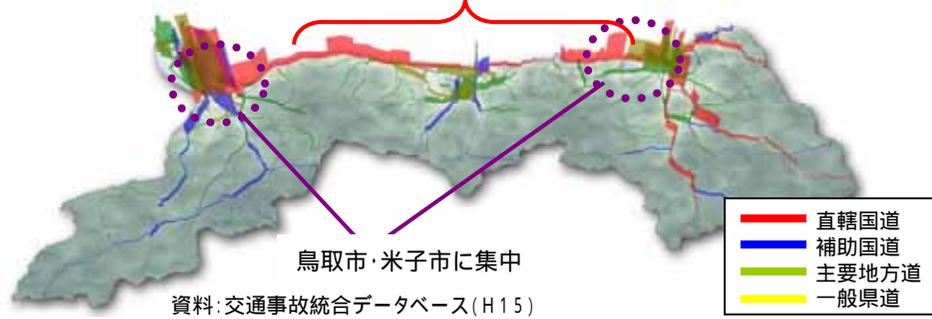


死傷事故件数は横ばい状態

鳥取県は、他の地域に比べて、積雪量及び冬日日数が多く、路面が積雪状態や凍結状態になりやすく、事故が発生しやすい

k mあたり事故件数 (H15)

国道9号が多い



鳥取市・米子市に集中

資料: 交通事故総合データベース(H15)

2. 昨年度の成果 (達成度報告・・・新指標)

平成16年度は、死亡事故等の重大な事故の発生箇所や事故の多発箇所において、交通安全事業を実施しました。しかしながら、県全体の死傷事故件数は平成15年度の2,934(件/年)から約4%増加し、3,048(件/年)になっています。(ただし、H16事故件数は速報値。)

対策実施箇所では、事故減少の効果が見られますが、今後も継続的な交通事故対策の実施が必要です。

H16年度実施事業

主体	事業名	事業内容	効果の内容	評価	備考
国土交通省	国道9号鳥取市福部地内凍結防止舗装の実施	凍結による事故を削減させるため、当該箇所においてゴムロール舗装を実施	対策後の事故件数はゼロに	◎	P30参照

◎: 効果が大きな事例 ○: 効果がみられた事例 △: 十分な効果がみられない事例

このほかにも合同点検等により検討し、冬期事故や死亡事故の対策を実施しています。

「事故削減にむけた取組事例」P.31参照

これらの、事故対策の効果については今後、検証していく予定です。

冬季の安全で安心な交通確保のため道路の画像や積雪状況などの情報を提供しています。

ほっ!とナビ <http://hot-navi.jp/>

「TOPICS」P.32参照

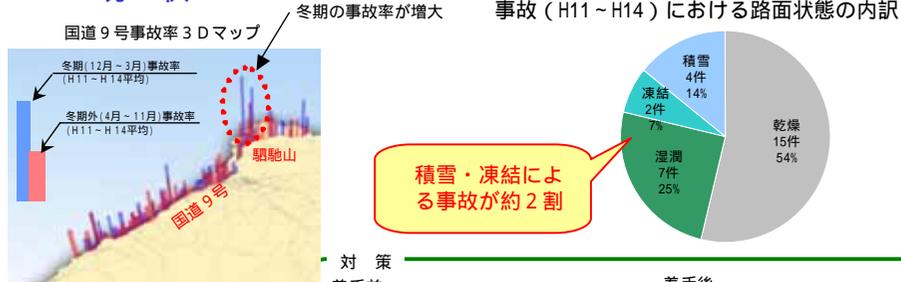
とうげんきょう <http://www.tottori-mlit.go.jp/touge/>

具体事業の成果

国道9号鳥取市福部地内
～凍結防止舗装により事故減少～

・国道9号で凍結による事故が最も多い箇所である、鳥取市福部地内においてゴムロード舗装を実施。
その結果、冬期の事故件数が0件になりました。

現状

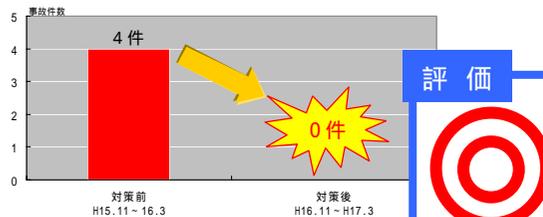


対策



効果

ゴムロード舗装により冬期の事故件数が0件と解消

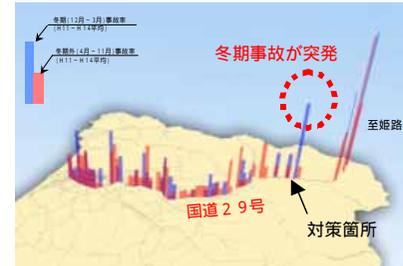


事故削減にむけた取組事例

国道29号八頭郡若桜町地内
～住民・警察と合同で対応策を検討～

・冬季に事故率の高い地点の事故要因をみると、全て積雪・路面凍結が引き金となっています。
国道29号の八頭郡若桜町地内において住民・県警と合同で積雪、凍結による事故の対策を検討し、迅速に対応しました。

事故率3Dマップ

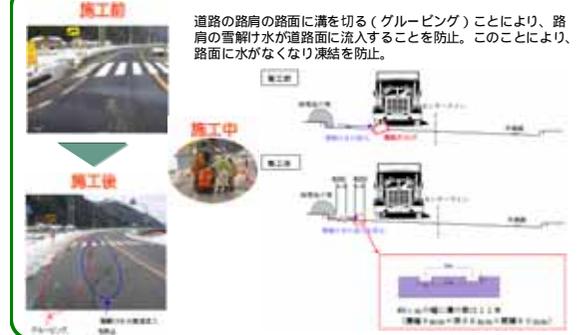


発生日	負傷者数	路面状態
H13.1.31	1人	凍結
H14.2.10	2人	積雪
H14.2.14	1人	積雪

資料出所: 交通事故総合データベース

当該箇所における事故は全て積雪や凍結時に発生

対策1: グルーピング工法



対策2: 凍結表示板の設置

気温により、ドライバーに注意喚起する警告表示

ランク	表示	状況
ランク3	"走行注意"	気温もしくは路面温度のどちらかが設定値以下となった時。
ランク2	"スリップ注意"	雨になった時
ランク1	"凍結注意"	気温と路面温度のどちらも設定値以下となった時。

きめ細やかなニーズへの対応
鳥取河川国道事務所、鳥取県郡家警察署、智頭警察署及び住民で、凍結防止対策の検討



TOPICS ~ 冬季の道路画像をリアルタイム配信 ~

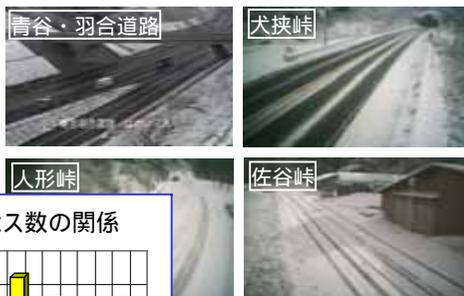
・安心・安全な交通確保、及び地域活性化を目的に、冬期の道路のリアルタイム画像や地域情報、交通情報を配信する情報サイト“ほっ！とナビ”を本格運用しました。



平成16年12月21日に
リニューアル

「ほっ！とナビ」リニューアル項目
画面更新、
冬期道路画像の増設(14箇所)
イベント情報の新規追加

道路のリアルタイム画像



事務所HP、ほっ！とナビのアクセス数の関係



3. 本年度のとりのくみ(業績計画)

平成17年度には、青谷・羽合道路アクセス部や、生山道路が供用予定であり、平行する現道区間の事故削減が期待できます。
更に、八頭町、河原町において、路面表示による注意喚起などの対策を実施し事故件数の削減を図ります。

以上を踏まえ、アウトカム指標の目標値を以下のように設定します。

平成17年度の目標値は、3,024件(平成16年値の0.8%削減)とします。

また、交通管理者(県警)等との協力を一層強固にして、多様な視点から効果の高い対策を進めていきます。

~ 対策の効果を検証する場合の考え方 ~

個々の事故対策に関わる事業の効果は、当該箇所の事故件数の増減で検証します。
具体的な検証の考え方は次のとおりです。

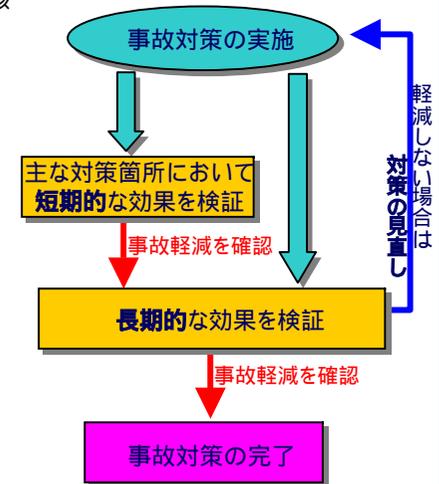
短期的な効果を検証する

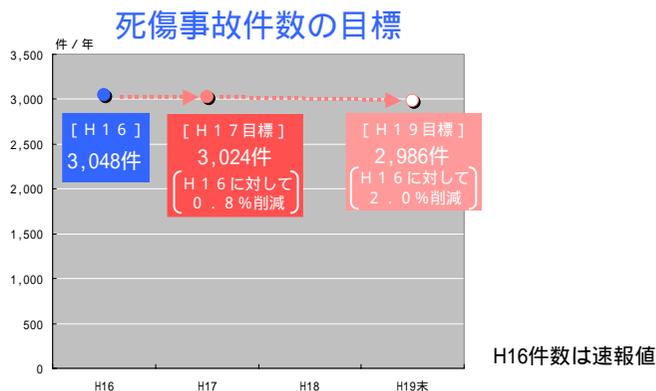
主な対策箇所において施行前後2~3カ月における事故件数を比較して、効果の検証を行います。施行後の早い段階で効果検証を実施する場合は、この考え方を採用します。

長期的な効果を検証する

施行前後1年間における事故件数を比較して、効果の検証を行います。季節等により件数の変化が激しい場所等において年間を通じた効果検証を実施する場合は、この考え方を採用します。

以上の検証の結果、事故の軽減が確認できない場合は、事故要因を再度分析して、対策の見直しを行います。





H17年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	供用予定年月	期待される効果	備考
国土交通省	青谷・羽合道路アクセス部	H17.11	線形不良箇所の回避による事故の減少	P12参照
	八頭町内における注意喚起表示(国道29号)	H17.8	注意喚起路面表示による事故の減少	P35参照
	緊急対策会議の実施(国道53号 河原町布袋における警戒標識の設置)	H17.5	重大な事故が発生した場合、県警と緊急対策会議を開催し、早期に事故防止策を実施することで、重大事故を削減	-
鳥取県	江府三次道路生山道路	H17.7	線形不良箇所の回避による事故の減少	P8参照

具体事業の期待される成果

国道29号八頭郡八頭町地内
～注意喚起の路面表示の設置～

- 交通事故が多発する八頭町内の国道29号において、県警、住民と合同で点検を行い、地域住民の意見を取り入れた交通防止事故対策を実施します。
- これらの対策により追突事故の減少が期待されます。

<警察・地域と連携による合同点検を実施(イメージ)>

国道29号八頭郡八頭町宮谷地内において事故が多発

八頭郡八頭町宮谷地内で事故多発地点の点検を実施。
国土交通省、鳥取県警、地区安全協会などを交え意見交換。



参加者

国土交通省郡家国道維持出張所、郡家警察署、鳥取県警察本部交通企画課、郡家警察署管内交通対策協議会連絡会、郡家地区交通安全協会、郡家地区安全運転運行管理者協議会

地元からの意見

- 意見：「看板は沢山あるので路面表示の色などを工夫した方が良い」
- 意見：「既存の道路の情報板を活用してはどうか」
- 意見：「看板と路面表示の2つで注意を促した方が更に効果があるのでは、など」

<合同点検の結果を踏まえ、事故防止対策を実施します(イメージ)>

事故分析 ・事故は昼間に発生、ホームセンターや本屋の出入口などに集中して発生
・原因は脇見や前方不注視、事故の当事者は町内の人

対策

- 路面を緑色に着色
- 緑色の路面と白字の「追突注意」の組み合わせ(鳥取県内初)



対策前



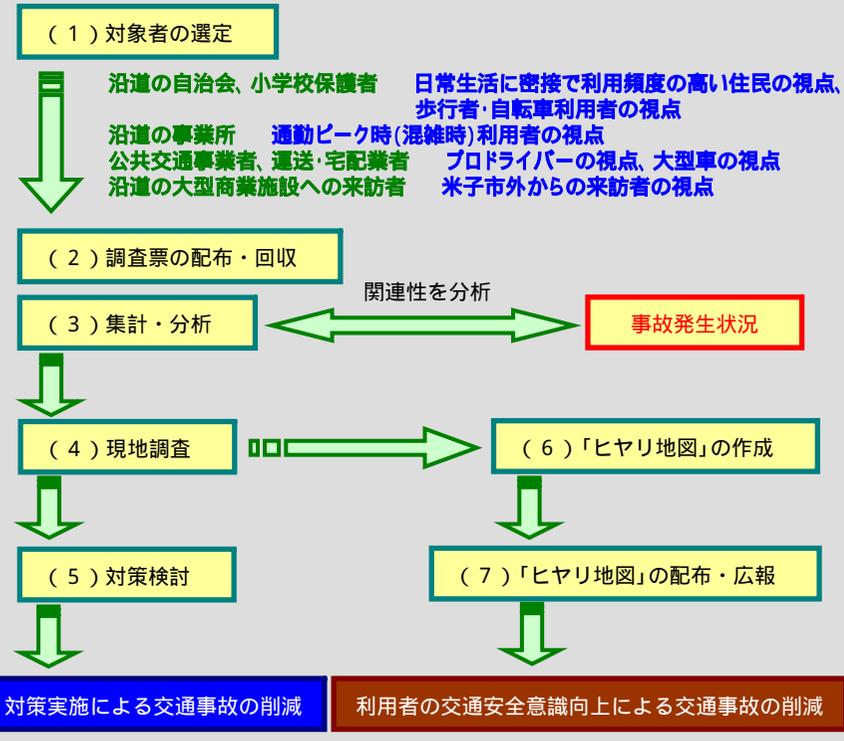
対策 既存の情報板を活用しドライバーに注意喚起

<事故の削減目標> 事故件数 (H16年度中) 4件 → 3件 約3割削減

TOPICS ~ 米子市内におけるヒヤリ地図の作成 ~

・米子市内における国道9号の沿道住民及び利用者が日頃感じている「ヒヤリ体験」、「危険認識」の情報を収集し、「ヒヤリ地図」を作成します。

住民認識把握の流れと交通事故削減への取り組みイメージ



・作成した「ヒヤリ地図」を、倉吉河川国道事務所ホームページに掲載、また米子市役所、道の駅、国土交通省情報プラザ、自治会、小学校、公共交通事業者等に配布することで、地域の安全性向上が期待できます。

4. 平成19年度目標達成に向けた展望

死傷事故件数の平成19年度目標値は2.0%削減であり、平成17年度からさらに1.2%の削減を目指します。



整 備 例

・事故危険箇所である今町一丁目交差点では、追突や出会い頭、右折時の事故が多く発生しています。そのため、右折車の停止位置の路面表示の検討や縁石を曲線にし、右左折をし易くします。

